

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

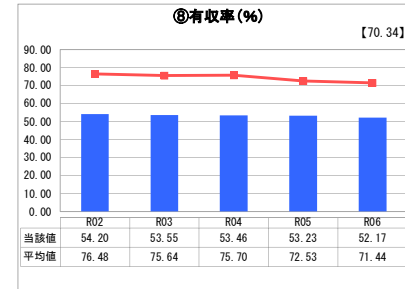
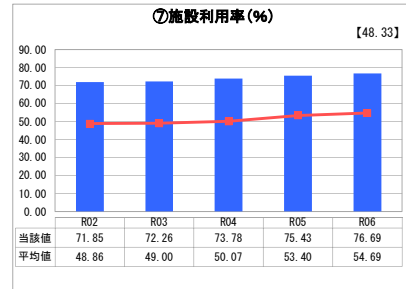
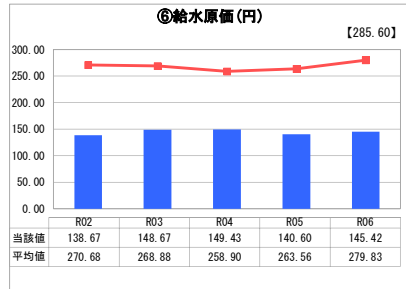
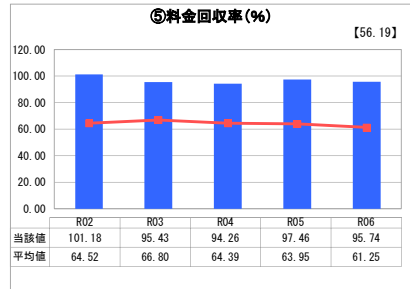
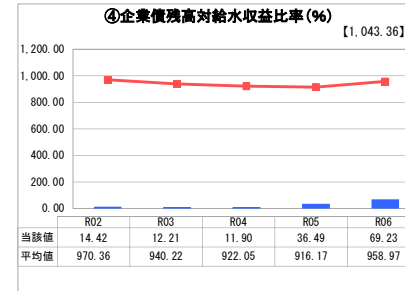
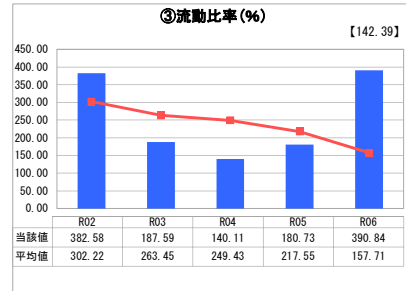
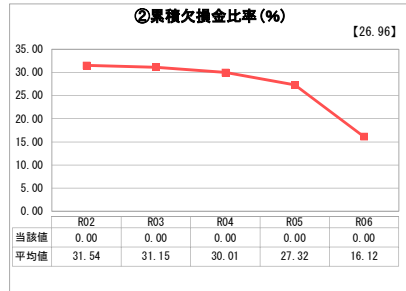
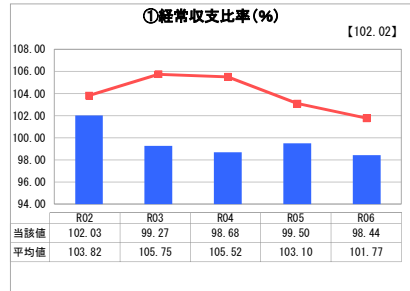
静岡県 函南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	88.23	8.68	4,400	

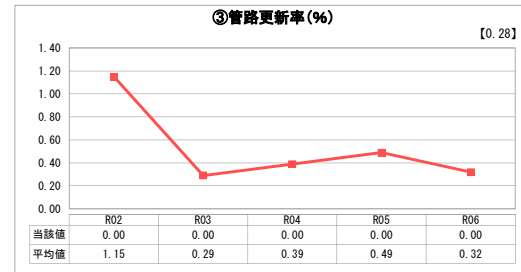
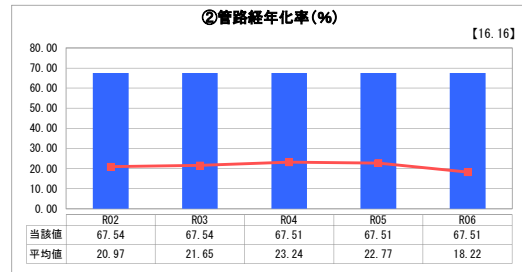
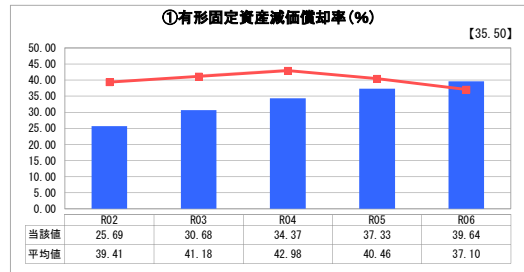
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
36,105	65.16	554.10
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
3,201	11.30	283.27

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%未満と、収支が赤字の状況が続いている。給水人口、水需要の減少に伴う料金収入の減少が主な原因であり、今後も水需要の減少が見込まれる中、維持管理費は増加することが見込まれるため料金改定の検討等、経営健全化の取組みが必要である。  
 ②累積欠損比率は0%であり、累積欠損金は発生しておらず、健全な経営状況と言える。  
 ③流動比率は平均値を上回り、100%以上であることから、短期債務に対する十分な支払能力を有していると言える。  
 ④企業債残高対給水収益比率は平均値を大きく下回っている。これは施設更新に対する企業債の借入れがほとんどない状況と言えるが、その反面、施設更新が進んでいない状況とも言える。  
 ⑤料金回収率は100%を下回っており、今後も水需要の減少が見込まれることから、料金改定の検討等、経営健全化への取組みが必要である。  
 ⑥給水原価は平均値に対して低い水準にあり、横ばい傾向であるが、今後、人件費や維持管理費の増加が見込まれるため、支出の抑制を検討していく必要がある。  
 ⑦施設利用率は平均値に対して高い水準となっており、効率的な施設や管路のおおむねできてきている状況と言える。  
 ⑧有収率は全国平均、類似団体平均値を下回っており、令和6年度は52.17%と配水量の半分程度が漏水している状況である。有収率の低下の主な要因は老朽管からの漏水と想定されるため、老朽管の更新が必要な状況である。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、年々増加し、平均値を上回り、施設の老朽化が進んでいると言える。今後、計画的な施設や管路の更新を進める必要がある。  
 ②管路経年率は67.51%と高い数値となった。今後も管路の老朽化が進んでいく見込みであることから、計画的な管路更新工事が必要である。  
 ③管路更新率は0%であり、各簡易水道事業の経営規模が小さく、予算の制約が大きいため、管路の更新工事を進めるのが困難な状況である。今後は、管路更新を効率的に進めていくための計画策定等が必要である。

### 全体総括

経営収支比率と料金回収率が100%を下回っており、厳しい経営状況が続いている。併せて、施設及び管路の老朽化が進み、有収率は低い水準であり、今後も水需要の減少が見込まれる中、施設及び管路の更新を進める必要があり、その財源確保が課題となってくる。そのため、企業債の借入や料金改定の検討等、経営健全化への取組みが必要である。